

# 本気(まじ)な農園探検隊ガイド事業

## 取組に至る背景・事業の目的

草尾地区では、特産品である灰焼きおやき店、農村公園、マレットゴルフ場などの観光施設に加えて、近年は新規就農者を中心としたブドウ・イチゴなどの観光農園が次々開園し、また都市交流や農業体験などの村の事業も増えて、年間を通じ村内外から多くのお客様を迎えるようになった。

しかし、各観光施設への道順や、どんな物がどこの農園で買えるかなどの情報が分かりづらい、またアクセス道路沿いには景観が悪い箇所があるなど、観光施設個々の努力を超えた、地域一丸で取り組む必要のある問題も出てきている。

そこで、来村者に気持ち良く草尾地区を散策してもらうことを目的として、事業を営む者と地域住民が協働により一体となって事業を推進するとともに、おもてなしの心を育て地域の活性化につなげていく。

## 事業内容

- 県産檜材を活用した誘導案内看板製作及び設置作業 13箇所
- 景観向上のための雑木伐採、除草、清掃作業
- 草尾地区散策マップの作成
- おもてなしの心勉強会の実施



【案内看板の製作状況】

## 事業効果

案内看板は大変わかり易いとお客様には好評であった。また、目的外のポイントへ立ち寄ることも増え、草尾地区の魅力をより楽しんでもらうことにつながった。

新規就農者と地域住民が協働で作業を行ったことで、地域づくりに対する一体感や意識が深まった。今後、この活動を進めていく上での貴重な礎となる一年だった。

## 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

「おもてなし」勉強会では、お客様の心を満足させる小さなことの積み重ねが大切と学んだ。今回で終わりではなく、生坂村や草尾地区を訪れていただけるお客様の満足度を上げる活動を地道に続けていき、入込客数を増やして地域の活性化につなげていきたい。

**【選定のポイント】**  
 事業者と地域住民が手づくり案内看板を設置したことにより、観光農園をはじめ各施設への案内が円滑になった。また、施設整備にとどまることなく、「おもてなしの心」を学ぶ勉強会を開催するなど、地域が一体となってサービス向上に意欲的に取り組んでおり、他地域への波及効果も期待できる。

団体名 草尾おもてなし向上委員会（生坂村）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先 会長 村松 由規	事業費	1,651,830円
電話番号 0263-69-3111	支援金額	1,650,000円